

令和4年度 高知県立日高特別支援学校 学校運営協議会

<委員>

- 森下 一 (日高村鍛冶屋地区自治会 会長)
- 渡邊 昭夫 (日高特別支援学校 P T A会長：高等部)
- 中平 佳代 (日高特別支援学校 P T A副会長：小学部)
- 正岡ほまれ (日高特別支援学校 P T A副会長：中学部)
- 成瀬真樹子 (日高特別支援学校 P T A副会長：高等部)
- 安岡 千春 (N P O法人日高わのわ会 事務局長)
- 大坂 太一 (児童養護施設さくら園 施設長)
- 中森 勇人 (高知市障害者相談センター西部 相談支援専門員)
- 日向 國雄 (いの町教育委員会 教育委員)
- 利岡 徳重 (日高特別支援学校長)

令和4年度 第1回学校運営協議会

- 1 開催日時 令和4年9月22日(火) 13:30~15:00
- 2 場 所 日高特別支援学校 会議室
- 3 開 会 校長挨拶、委員紹介(自己紹介)
- 4 議 事
 - (1) 学校運営協議会設置要綱について
 - (2) 令和4年度学校経営計画について
 - (3) 令和4年度学校経営計画の中間評価について
 - (4) 意見交換
 - (5) その他

5 議事概要

(1) 運営協議会設置要綱について

本校の学校運営協議会設置要綱について資料に基づき概要説明を行った。委員からの質問、意見はなく、確認された。

学校運営協議会委員長に安岡千春委員、副会長に利岡徳重委員が選出された。

(2) 令和4年度学校経営計画について

令和3年度第2回学校運営協議会において、承認済みである学校経営計画について概要説明を行った。委員からの質問、意見はなく、確認された。

(3) 学校経営計画の中間評価について

校長から、重点取組項目ごとに具体的な取組内容の進捗状況について、スライド資料による9月現在の実施率等の説明があり、評価指標に基づく評価（案）を重点取組項目1は「C」、重点取組項目2は「A」、重点取組項目3は「A」、重点取組項目4は「B」として提案した。

【委員からの意見】

ア 重点取組項目1

専門性の向上<各教科等の視点を重視した授業実践力の向上>について

- ・ここまで細かくプログラムされていたら、子どもも分かりやすいだろう。先生も努力されている。枝豆にどのように水やりすればよいのかの学習は、分かりやすい取組だと思う。報告を聞いていて、中間報告としては非常に深く取り組めており、C評価なのかと思いながら聞いた。このまま取り組まれたらいい。
- ・学校に望むことは、できる、できないの前に、きちんと挨拶ができることが大切である。指示を出したことが分かっているのか、いないのかを伝えることやごみが落ちていたら自分から気が付いて拾えるなど、身の回りのことに気が付くようにしてほしい。
- ・毎年、進化しレベルが上がっていることが分かる。日頃の努力に感謝している。電子黒板も入り、我が子も楽しみにしているだろう。評価はCを付けているが、もっと評価が高くてよいのではないか。
- ・クロムブックが入り、理科の授業も入ってきた。学級では、学級園の成長の写真を撮っていると聞いた。気温が変われば植物の成長も変わるので、そのような学習もできたらいい。技能検定では、情報部門でクロムブックを使用できずに戸惑うことがあったが、清掃部門では手順も覚えて行うことができた。
- ・知的に重度だが、クロムブックで連絡帳を平仮名で打ち、印刷している。先生方に感謝している。鉛筆で書くことができなくてもこのような方法で書くことができています。
- ・いろいろな可能性をつなげ、育ててくれている。小中高と広がるのを期待している。子どもは、学校へ行くことも楽しみにしている。いろいろな経験をさせてもらえる場としてありがたい。
- ・計画的に学習されている。特別支援教育で学んでいる子どもたちの学習については、教員が学び合う努力が必要である。その成果が出ているのではないか。

イ 重点取組項目2

キャリア教育の充実<多様なニーズに対応するキャリア教育の推進>について

- ・成果のフィードバックをしていくことによって教員と家庭が一丸となって取り組まれている。道徳科を取り入れた取組は素晴らしい。家庭で学べないことも学んで、人を思いやる心、気付きが育っていく。小学部低学年からコツコツ積み重ねていき、すぐには目に見えないが、卒業までにここまでという目標をもたれて取

り組まれている。

- ・進路だよりを出されているが、保護者として何が知りたいのかを聞くことがあるのか。

[回答] 進路だよりの返信欄に、保護者からの意見・要望を記述してもらっている。

- ・進路だよりでは、いつも最後にアンケートを取ってくれていて、それに基づいて次号を作ってくれる。進路だよりや進路の手引きがあり、小中高へ進路の状況が説明されている。夏休み中に3日間の事業所体験があり、子どもの適性等がよく分かりとてもよかった。
- ・保護者の意見を聞いてフィードバックしていくことが大切である。

ウ 重点取組項目3

学校設定項目<防災教育・防災体制の充実>について

- ・昨年度と比較しても校長のリーダーシップで目標をしっかりと設定し、先生方も取り組んでいて確実に進んでいる。今年度、施設に職業指導員が入り、防災にも取り組んでいる。アウトドアの活動が防災教育につながる。
- ・学校の防災マニュアルなどは参考にさせてもらっている。個人個人の避難場所を設定することなど参考になっている。

エ 重点取組項目4

働き方改革について

- ・各教科等の視点を重視した授業実践力の向上について、目標が増えたことによってさらに忙しくなっていないか。

[回答] 授業実践力の向上は学校の本務であるので、その他のところで業務改善し、本来必要なところに時間をかけられるようにしている。いたずらに時間を減らすことを目的とはしていない。

- ・教職員全員集まったの職員会があるか。

[回答] 年度の初めに全教職員が集まって職員会を行っているが、他はほぼ行っていない。それぞれの部署で確認したことを管理職と確認して取り組んでいる。

起案を管理職が確認し、修正が必要なものは修正し、教職員全体にグループウェアの掲示板やメッセージで周知し、教職員の時間を極力取らないようにしている。職員朝礼も必要な場合のみでほとんど行っていない。

- ・教育観を変えないと業務を簡素化できない。重点化していくことが大切である。

(4) 意見交換

- ・早い時期からの事業所体験をし、夢を描けるような体験をしていくと良い。遠慮なくいろいろな事業所に相談すればいいと思う。グループホームの体験もある。

中間評価案については、提案のとおり承認された。

(5) その他

その他の提案、意見はなかった。

- 7 閉 会
- ・第2回開催予定を令和5年2月22日（水）13：30からとし、文書で案内する旨を確認。
 - ・校長謝辞